

令和6年度健やか親子21全国大会実施等業務委託 仕様書【案】

1 業務の目的

鹿児島県で開催する「健やか親子21全国大会」（以下、「大会」という。）の効率的、効果的な大会実施を図る。

2 委託業務名

令和6年度健やか親子21全国大会実施等業務委託

3 業務委託期間

委託契約締結日から令和7年2月28日（金）まで

4 大会の概要

(1) 目的

全国から母子保健事業及び家族計画等に携わる関係者ほか多数の参加を求め、母子保健の諸問題についての講演やシンポジウムなどの開催により、「健やか親子21」の推進を図るとともに、事業推進に功績のあった個人及び団体を表彰し、もって、我が国の母子保健事業及び家族計画事業の一層の推進を図る。

(2) 事業主体 健やか親子21全国大会実行委員会(以下、「実行委員会」という。)

【実行委員会の構成団体】

ア 主催 県，国（こども家庭庁），開催市（鹿児島市），社会福祉法人恩賜財団母子愛育会，一般社団法人日本家族計画協会，公益社団法人母子保健推進会議

イ 協賛 公益社団法人鹿児島県医師会，公益社団法人鹿児島県歯科医師会，公益社団法人鹿児島県薬剤師会，公益社団法人鹿児島県看護協会

(3) 開催日程 令和6年11月21日（木）～11月22日（金）

(4) 会場 宝山ホール（鹿児島県文化センター）

(5) 参加者 母子保健事業及び家族計画関係者ほか一般県民 ※ 参加者数は，2日間で延べ1,000名程度を想定。

(6) 内容 別添の他県で実施した大会の内容に準じる。 ※ 別添の島根県(R4),栃木県(R5)の資料を参照 ※ 具体的な内容は，契約締結後，実行委員会と調整すること。

5 委託業務の内容

大会実施に係る広報及び参加申込み取りまとめ，開催準備，大会運営・記録，結果の取りまとめ等。

(1) 広報・応募対応

事業受託者は、広く参加者を募るため、周知用HP（令和6年度健やか親子21全国大会の特設サイト）を8月頃に開設し、効果的な広告、宣伝を実施するとともに、申込み用WEBフォームからの参加申込みの取りまとめ、各種問合せ対応を行うこと。

(2) 大会告知「リーフレット」の制作（印刷・発送準備含む）

事業受託者は、以下の仕様で、各団体・一般県民向けに大会日程等について周知するための「リーフレット」をデザイン（校正回数3回程度）し、印刷の上、実行委員会が示す送付先に発送すること。

ア 規格 A3版1枚 二つ折り 両面印刷 カラー

イ 内容 「令和6年度健やか親子21全国大会」日程及び各種申込み事項等

ウ データ等の支給 リーフレットに掲載する文案は、県が提示する。

その他使用する写真等については、事業受託者が制作又は撮影・編集を行うこと。

エ 印刷部数 2,000部

オ 納品する成果品

① リーフレット印刷用原稿のJPEGデータ及びPDFデータ

※ PDFデータについては、印刷原稿及び県ホームページ等に掲載できる体裁のもの（印刷枠なし、容量5MB以内）の両方を納品すること。

② 印刷したリーフレットの発送後の残部

カ 納期等 令和6年7月31日(水)までに納品すること。

印刷したリーフレットの発送は、8月上旬に行うこと。

キ 発送準備 実行委員会が示す送付先リスト及び送付状を用いて発送準備（80程度の宛先別）を行う。（発送は、実行委員会で行う。）

ク 納品先 令和6年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
（鹿児島県保健福祉部子ども政策局子育て支援課内）

(3) 大会で使用する設備等の手配

事業受託者は、会場内での大会の実施に必要な設備器具類のほか、有効展示パネル（1,800mm×1,200mm）約20枚、立て看板、懸垂幕、飾花等を手配し設置すること。

事業受託者は、会場周辺に必要なサイン（案内）の表示を行うこと。

※ 規格等については、都度、実行委員会担当者及び会場担当者と十分に協議を行うこと。

※ 宝山ホールの「施設基本利用料金」及び「附属施設・設備等利用料金」については、実行委員会が負担する。

(4) 大会の会場設営、リハーサル、本番、撤去に係る運営・管理

事業受託者は、大会の円滑な実施に必要な以下の内容について作成又は手配等を行うこと。

ア 会場レイアウトやタイムスケジュールをはじめ、関係スタッフの役割分担、会場内の位置関係、その他留意事項が確認できる「運営マニュアル（動員マニュアル含

む)」を作成すること。

イ 必要となる運営スタッフの人員（県からの動員含む）を配置し、参加者の受付、大会プログラム等の配布、来場者数の把握、駐車場誘導、会場内外での来場者の誘導・案内等を行うこと。

ウ 大会の全体進行を行う「司会者」を手配すること。

エ 表彰式典、特別講演、シンポジウムのタイムスケジュールをはじめ、ステージ上での出演者等の動きや司会ナレーション、コメント等が確認できる「進行台本」（シナリオ）を作成すること。

オ 本番前日・本番1日目・本番2日目の会場設営、本番1日目・本番2日目の参加者の案内等、全国大会全体の運営を行うとともに、大会終了後の撤去を行うこと。

カ 大会中、要約筆記を行い、必要に応じて手話通訳を行うこと。

キ 参加者が託児の申込みをした場合は、保育士等を手配し、必要なスペースに、けが防止対策を施した上で、託児を実施すること。

ク 表彰の受賞者に対して、記念品、表彰筒、資材袋及び記章を手配（概ね200人分）すること。

受賞者用の記念品は、2,000円程度のものとし、郷土色を打ち出すこと。

受賞者用資材を決定する際は、実行委員会担当者と事前協議すること。

欠席した受賞者の記念品等については、大会終了後に各都道府県担当課宛に送付すること。

ケ 表彰の受賞者、付添者、来賓、講師及び事務局手配のスタッフ等の昼食用弁当の手配を行うこと。

表彰の受賞者及び来賓、講師等（概ね200人分）の昼食用弁当代金については委託料に含むものとする。

事務局手配のスタッフ等の昼食用弁当代金については、本人より別途実費徴収し、業者への支払いを行うこと。

コ 大会期間中、会場内外において、大会機運の盛り上げ、おもてなしの雰囲気づくりを行うこと。

※ 講演会講師・有識者・発表者の選定、報償費・旅費の支払い業務は、実行委員会で行う。

(5) 「大会プログラム」の制作（印刷含む）

事業受託者は、以下の仕様で、大会参加者向けに、「健やか親子21全国大会」の当日のスケジュールや表彰者の紹介などを記載した「大会プログラム」をデザイン（校正回数3回程度）し、印刷すること。

ア 規 格 A4版、4色フルカラー、両面印刷70ページ程度の冊子

イ 内 容 (ア) 「令和6年度健やか親子21全国大会」日程
(イ) 「健やか親子21」に関連する団体や個人等の紹介
(ウ) その他、協賛企業・団体等の紹介 等

ウ データ等の支給 プログラムに掲載する文案は、県が提示する。
その他の図表及び使用する写真等については、事業受託者

が制作又は撮影・編集を行うこと。

エ 印刷部数 1,000部

オ 納品する成果品

① プログラム印刷用原稿のJPEGデータ及びPDFデータ

※ PDFデータについては、印刷原稿及び県ホームページ等に掲載できる体裁のもの(印刷枠なし、容量5MB以内)の両方を納品すること。

② 印刷したプログラム

カ 納期等 令和6年9月30日(月)までに納品すること。

キ 納品先 令和6年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
(鹿児島県保健福祉部子ども政策局子育て支援課内)

(6) 大会の記録、結果取りまとめ

事業受託者は、以下の仕様で、大会の記録等を行うこと。

ア 記 録 大会内容については、写真撮影し、登壇者の発言内容については、録音し、記録すること。

イ 表彰受賞者の写真

被表彰者の集合写真(4団体分)を撮影し、後日現像した写真を各受賞者へ送付すること。

(ア) 規 格 2Lサイズ

(イ) 現像枚数 約160枚(約40枚×4団体)

(ウ) 文字入れ 各団体名と日付等の文字入れを行う

ウ 納品する成果品

① 撮影した写真のJPEGデータ及びPDFデータ

※ PDFデータについては、印刷原稿及び県ホームページ等に掲載できる体裁のもの(印刷枠なし、容量5MB以内)の両方を納品すること。

② 録音を起こした文書(Word)データ

エ 納期等 大会終了後、概ね1月以内

オ 納品先 令和6年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
(鹿児島県保健福祉部子ども政策局子育て支援課内)

(7) 「大会報告書」の制作(印刷・発送準備含む)

委託事業者は、以下の仕様で、大会関係者向けに、「健やか親子21全国大会」の発言内容(挨拶や講演内容)等についてまとめた「大会報告書」をデザイン(校正3回程度)し、印刷の上、実行委員会が示す送付先に発送すること。

ア 規 格 A4版、カラー、両面印刷70ページ程度の冊子

イ 内 容 (ア)「令和6年度健やか親子21全国大会」日程
(イ)式典での挨拶、特別講演・シンポジウム等の発言内容
(ウ)その他、開催要領等

ウ データ等の支給 「大会報告書」に掲載する文面その他の図表、写真等については事業受託者が制作又は編集を行うこと。

エ 印刷部数 300部

オ 納品する成果品

① 「大会報告書」印刷用原稿のJPEGデータ及びPDFデータ

※ PDFデータについては、印刷原稿及び県ホームページ等に掲載できる体裁のもの(印刷枠なし、容量5MB以内)の両方を納品すること。

② 印刷した「大会報告書」の発送後の残部

カ 納期等 令和7年2月28日(金)までに納品すること。

印刷した「大会報告者」の発送は、2月末までに行うこと。

キ 発送準備 実行委員会が示す送付先リスト及び送付状を用いて発送準備(160程度の宛先別)を行う。(発送は、実行委員会で行う。)

ク 納品先 令和6年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
(鹿児島県保健福祉部子ども政策局子育て支援課内)

(8) 事業実施報告

事業受託者は、事業完了後、実施報告を作成の上、提出すること。

※ 事業実施報告書の様式は任意で、体裁はA4版横書きとし、記載内容は、別途実行委員会と打合せの上、決定することとする。

6 その他

(1) 本業務の遂行に伴い新たに制作又は製作された成果品に係る著作権その他の権利は、全て実行委員会に帰属し、納品後は自由に印刷・改訂等を行えるものとする。

(2) 本業務に関して使用する音楽等の著作物については、当該著作物の著作権者からの許諾、費用の負担等の一切について、法的な紛争が生じないように、受託者において適切に処理を行うこと。

(3) 事業受託者は、本業務の進捗状況等について、実行委員会担当者へ定期的に報告を行うこと。

(4) 事業受託者は、委託業務の実施に際し、実行委員会担当者及び会場担当者と十分に協議を行うこと。

(5) 本仕様書の定めのない事項や業務内容の詳細等については、都度、事業受託者と実行委員会と双方で協議し、決定するものとする。

会場へのアクセス



会場へのアクセス

バス Bus

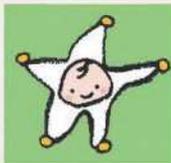
- 松江市営バス / 一畑バス
松江駅乗車～「県民会館前」バス停より徒歩1分
- ぐるっと松江レイクライン
松江駅乗車～「松江城（大手）」または「大手前堀川遊覧船乗場」バス停より徒歩1分

車 Car

- 山陰道「松江中央」または「松江西」ランプより「県庁・松江城方面」へ
- <駐車場について>
県民会館有料駐車場、大手前駐車場、周辺のコインパーキングをご利用ください。
詳しくは島根県民会館ホームページでご確認ください。

お問い合わせ先

島根県健康福祉部健康推進課 内
令和4年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
住所) 〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
電話) 0852-22-6491 FAX) 0852-22-6328



健やか親子21

目指そう! 笑顔でゆったり子育て

～つないで広げる支援の輪、みんな親子の応援団～



【秋の松江城】
(島根県松江市)



島根県観光
キャラクター
しまねっこ
鳥観通許第7156号

健康長寿しまね
マスコットキャラクター
まめなぐん

令和4年度

健やか親子21全国大会

(母子保健家族計画全国大会)

期日 令和4年10月27日(土)～10月28日(日)

会場 島根県民会館 (松江市殿町158)

併設 母子保健関係者研究会
愛育班等組織支援担当者会議
母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
家族計画研究会
全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議

主催: 厚生労働省・島根県・松江市・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会・
一般社団法人日本家族計画協会・公益社団法人母子保健推進会議
共催: 島根県小児保健協会



【宍道湖の夕日】
(島根県松江市)



【大根島のぼたん】
(島根県松江市)

参加費無料

要申込み

(申込みメット9月30日迄)



大会ホームページからも申込みできます。

島根県 健やか親子21全国大会 検索

大会テーマ

目指そう! 笑顔でゆったり子育て

～つないで広げる支援の輪、
みんな親子の応援団～

近年の家族形態や社会構造の多様化に加え、感染症の流行も影響し、人との関わりにおいても希薄化が加速しています。しかし、妊娠、出産、子育てにおいて、さまざまな縁・つながりや周囲のサポートは、子どもの健やかな育ちのためにも、より一層大切なものと考えます。この大会で「つながり」の大切さをあらためてメッセージとして発信し、誰もが支援・応援しやすい、されやすい安心してゆったりと子どもを育てられる社会を目指していきましょう。



10/27 木

式典及び特別講演

時間 10:30～14:20
会場 島根県民会館 大ホール

9:30 受付
10:30 式典

挨拶／厚生労働大臣・島根県知事・松江市長
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長
一般社団法人日本家族計画協会会長
公益社団法人母子保健推進会議会長
表彰／厚生労働大臣表彰
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰
一般社団法人日本家族計画協会会長表彰
公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

来賓祝辞
受賞者謝辞

次期開催都道府県挨拶 栃木県

11:50 休憩
13:00 特別講演

「お産の現場から考える子育て支援(仮題)」
講師：荻田 和秀
(りんくう総合医療センター 産婦人科部長)



母子保健関係者研究集会

時間 14:40～16:00
会場 島根県民会館 大会議室
テーマ 「周産期メンタルヘルスにおける最近の話題」

講師：齋藤 知見
(愛育クリニック周産期メンタルヘルス科副部長、
愛育研究所研究企画部次長、産婦人科医師)

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
後援 厚生労働省 (依頼予定)
対象 愛育班員、保健師、助産師、看護師、保育士、
その他関心のある方
定員 100名 (先着順)

愛育班等組織支援担当者会議

時間 16:30～17:30
会場 島根県民会館 大会議室

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
対象 愛育班のある県・保健所・
市町村の愛育班等組織支援担当者

母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会

時間 14:50～17:50
会場 島根県民会館 中ホール
表彰 「健やか親子21-8020の里賞(ロッセ賞)」
表彰、受賞対象作品介绍
講評：山本 秀樹
(公益社団法人日本歯科医師会常務理事)

講話 「マイナス1歳からのむし歯予防」
講師：仲井 雪絵
(静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科学科教授)

特別講演 「最近の母子保健を取り巻く状況」
講師：山本 圭子
(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)

シンポジウム

「妊娠期からの切れ目のない^{かじえん}「皆支援」」
座長・基調講演：佐藤 拓代
(公益社団法人母子保健推進会議会長)

事例報告

①浜田市子ども・子育て支援課子育て支援係保健師
伊藤 恵
②光市健康増進課保健師
影土井 圭子・江藤 沙綾

主催 公益社団法人母子保健推進会議・
全国母子保健推進員等連絡協議会
後援 厚生労働省 (申請中)
対象 自治体母子保健担当者・
母子保健推進員等地域組織の方・関心のある方
定員 200名 (先着順)
※会場ロビーにて、「8020の里賞(ロッセ賞)」優秀賞受賞活動、
母推協議会等の活動展示を行います。

10/28 金

家族計画研究集会

時間 10:30～12:30(受付10:00～)
会場 島根県民会館 中ホール
テーマ 「子宮頸がん予防、今からでも遅くない
～HPV ワクチン積極的接種勧奨再開についてご存じですか～」

プログラム
講演 1
「子宮頸がんを巡って今、何が起きているか」
講師：北村 邦夫 (一般社団法人日本家族計画協会会長)

講演 2
「改めて HPV ワクチン接種の大切さを考える」
講師：上田 豊 (大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科学講師)

パネルディスカッション
「子宮頸がん予防、今からでも遅くない
～HPV ワクチン積極的接種勧奨再開について
ご存じですか～」

進行：杉村 由香理
(日本家族計画協会家族計画研究センター長)

パネリスト：北村 邦夫・上田 豊
主催 一般社団法人日本家族計画協会
対象 保健師・助産師・看護師・医師・薬剤師・
看護教諭・教職員・一般等
定員 300名 (先着順)



シンポジウム

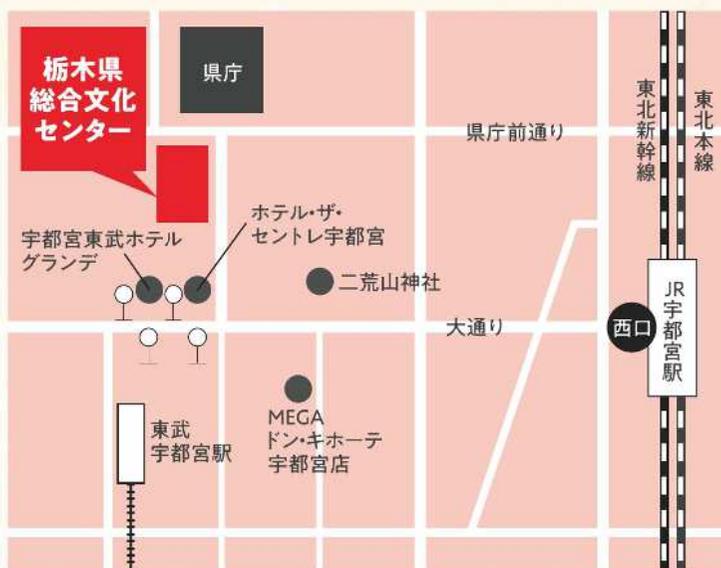
時間 13:30～16:20(受付13:00～)
会場 島根県民会館 大ホール
テーマ 「多職種で見て、つないで、支える子育て支援
(妊娠から乳幼児期の母と子の
メンタルヘルス支援を中心に)」

第Ⅰ部 基調講演 (13:30～14:30)
「多機関連携による妊娠期からの
切れ目のない育児支援」(仮題)
講師：鈴宮 寛子 (医療法人輝栄会福岡輝栄会病院医師)

第Ⅱ部 パネルディスカッション (14:30～16:20)
コーディネーター
竹谷 健 (島根県小児保健協会会長)

パネリスト
原 利江 (松江市子育て支援センター保健師)
山本 喜久子 (山本助産院助産師)
渡辺 浩 (わたなべこどもレディースクリニック院長)
原 愛 (子育て経験者)

会場へのアクセス



バス

- 関東バス 宇都宮駅～「県庁前」バス停より徒歩3分
- JRバス関東 宇都宮駅～「東武駅前」バス停より徒歩3分

車

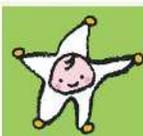
- 東北自動車道
鹿沼I.Cから約9km(約30分)
宇都宮I.Cから約10km(約20分)

<駐車場について>

周辺の有料駐車場もしくは県庁地下駐車場をご利用ください。
詳しくは栃木県総合文化センターのホームページでご確認ください。

お問い合わせ先

栃木県保健福祉部こども政策課内
令和5年度健やか親子21全国大会実行委員会事務局
電話/028-623-3064
住所/〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20



健やか親子21

親子の笑顔が明るい未来をつくる!

～すべての親子が笑顔でいられる社会を目指して～



男体山と中禅寺湖(日光市)



やしおつつじ(栃木県)



とちぎのいちご(栃木県)



足利学校(足利市)



令和5年度

健やか親子21全国大会

(母子保健家族計画全国大会)

期日 令和5年11月9日(木)～11月10日(金)

会場 栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1-8)

併設 母子保健関係者研究会
愛育班等組織支援担当者会議
母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
家族計画研究会
全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議

参加費無料
要申込み

締切 9月30日(土)



主催:こども家庭庁、栃木県、宇都宮市、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、
一般社団法人日本家族計画協会、公益社団法人母子保健推進会議

大会ホームページからも申込みできます。

栃木県 健やか親子21全国大会 検索

大会テーマ

親子の笑顔が 明るい未来をつくる!

～すべての親子が笑顔でいられる社会を目指して～

“親子の笑顔が明るい未来をつくる”これは、いつの時代も変わりません。しかしながら、少子化や核家族化等、母子保健の取り巻く環境が変化することに伴い、身近な人に相談できず、孤立化している親子も少なくありません。そのため、妊婦や子育て家庭が安心して出産や子育てができるよう、これまで以上に一人一人に寄り添った支援が一層大切と考えます。この大会で、個別支援と地域社会の連携の大切さをあらためて発信し、保護者や子どもが笑顔でいられるような社会を目指していきましょう。



11/9 木

式典及び特別講演

時間 10:30～14:20
会場 栃木県総合文化センター メインホール

9:30 受付
10:30 式典

挨拶／内閣府特命担当大臣
栃木県知事・宇都宮市長
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長
一般社団法人日本家族計画協会会長
公益社団法人母子保健推進会議会長
表彰／内閣府特命担当大臣表彰
恩賜財団母子愛育会会長表彰
日本家族計画協会会長表彰
母子保健推進会議会長表彰

来賓祝辞
受賞者謝辞
次期開催県挨拶 鹿児島県

13:00 特別講演
「成育医療等基本方針を踏まえた
これからの母子保健
～父親支援を考える～」

講師:上原 里程
(国立保健医療科学院 疫学・統計研究部 部長)

母子保健関係者研究集会

時間 14:40～16:00
会場 栃木県総合文化センター 特別会議室

テーマ 「親子を笑顔に!
～周産期メンタルヘルスの
理解と支援～」

講師:齋藤 知見
(愛育研究所研究企画部次長/
愛育クリニック周産期メンタルヘルス科副部長、産婦人科医師)

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
後援 こども家庭庁
対象 愛育班員・保健師・助産師・看護師
保育士・その他関心のある方
定員 100名(先着順)

愛育班等組織支援担当者会議

時間 16:30～17:30
会場 栃木県総合文化センター 特別会議室

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
対象 愛育班のある県・保健所
市町村の愛育班等組織支援担当者

母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会

時間 14:50～17:50
会場 栃木県総合文化センター サブホール

表彰 「健やか親子21
-8020の里賞(ロッセ賞)-」
表彰、受賞対象作品紹介

講評:山本 秀樹 (公益社団法人日本歯科医師会常務理事)

講話 「マイナス1歳からのむし歯予防」
講師:仲井 雪絵 (静岡県立大学短期大学部歯科衛生学教授)

特別講演 「最近の母子保健を取り巻く状況」
講師:木庭 愛 (こども家庭庁成育局母子保健課長)

シンポジウム

「ビットフォールを乗り越える
～妊娠期からの切れ目ない支援～」

座長・基調講演:佐藤 拓代 (公益社団法人母子保健推進会議会長)

事例報告

- ① 真岡市こども家庭課母子健康係係長
鎌田 玲子
- ② 京都市子ども若者はぐみ局子ども若者未来部
子ども家庭支援課母子保健係長
吉川 静香

主催 公益社団法人母子保健推進会議
全国母子保健推進員等連絡協議会

後援 こども家庭庁
対象 自治体母子保健担当者
母子保健推進員等地域組織の方・関心のある方
定員 200名(先着順)

※会場ロビーにて、「8020の里賞(ロッセ賞)」優秀受賞活動、
母推協議会等の活動展示を行います。

11/10 金

家族計画研究集会

時間 10:30～12:30(受付10:00～)
会場 栃木県総合文化センター サブホール

テーマ 「プレコンセプションケアへの
理解を深める」

プログラム

講演1 「プレコンセプションケアとは」
講師:三戸 麻子 (国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科)

講演2 「プレコンセプションケアにおける
若年女性への栄養指導」
講師:細川 モモ (予防医療コンサルタント一般社団法人Luvelli(ラブテリ)代表理事)

講演3 「プレコンセプションケアと女性の健康」
講師:北村 邦夫 (一般社団法人日本家族計画協会会長)

○まどめ
三戸 麻子・細川 モモ・北村 邦夫

主催 一般社団法人日本家族計画協会
対象 保健師・助産師・看護師・医師・薬剤師
養護教諭・教職員・一般等
定員 300名(先着順)



シンポジウム

時間 13:30～16:20(受付13:00～)
会場 栃木県総合文化センター メインホール

テーマ 「関係機関の顔の見える連携
～親の不安に地域で寄り添う
体制づくり～」

第1部 基調講演 13:30～14:30

「切れ目のない支援に向けて
～バイオサイコソシアルの視点～」

講師:秋山 千枝子 (あきやま子どもクリニック院長)

第2部 パネルディスカッション 14:40～16:20

- コーディネーター
秋山 千枝子 (あきやま子どもクリニック院長)
- パネリスト
土谷 美和 (社会福祉法人恩賜財団済生会宇都宮病院産婦人科医師)
黒白 友子 (栃木市保健福祉部健康増進課子育て世代包括支援センター係 係長)
大下 信代 (助産所ままと赤ちゃんの家 代表助産師)
高村 壽子 (NPO法人とちぎみらいwithピア理事長)